



2016～2017

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

ROTARY SERVING
HUMANITY

RI テーマ
人類に奉仕する
ロータリー

会 長：岩切正司 副会長：郡司武俊 RI2730 地区ガバナー 大重 勝弘
 幹 事：田邊揮一郎 会 計：新原輝彦 中部分区ガバナー補佐 藤堂 孝一
 事務局：吉野由里子 会報委員：中武幹雄 RI 会長テーマ人類に奉仕するロータリー
 例 会 場：ワールドコンベンションセンターサミット 2730 地区テーマ ロータリーを楽しもう！
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1155・FAX 0985-21-
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1443 回 例会 平成 29 年 6 月 7 日(水)

<本日のプログラム>

1. 点 鐘 ～ ＊国歌斉唱
2. ロータリーソング 《奉仕の理想》
3. 四つのテスト唱和 4. お客様・ビジター紹介
5. 会長の時間 6. 幹事報告
7. 出席報告 8. ハッピー披露
9. 委員会報告 10. 米山授与式・6 月度セレモニー
次年度委員長方針発表 11. 点 鐘

<6 月度例会プログラム>

△6/7～セレモニー・米山奨学生・次年度方針各委員長

△6/14～委員会活動最終報告～各委員長・委員より

△6/21～夜間例会 「年度末懇親会」

△6/28～岩切会長・田邊幹事・藤堂 GH～退任の挨拶

第 1442 回 平成 29 年 5 月 31 日(水)

■会長の時間 ●岩切 正司会員



皆さんこんにちは、私の年度も今日を入れて 5 回。こうなりますと、何とも名残惜しいものです。聖徳太子が何故日本に仏教を持ち込んだのか？それは日本人が理念を持ち、

植民地になることを防ぐ為だとも考えられています。「太子の政治」は、蘇我馬子の建立にかかる飛鳥の法興寺(ほうこうじ)(飛鳥寺)は、596 年に完成し、高句麗(こうくり)僧の慧慈(えじ)、百濟(くだら)僧の慧聡をはじめ、多くの僧が入った。仏法興隆について、聖徳太子と馬子とは協力することができた。こうして太子は大和(やまと)の斑鳩(いかるが)に法隆寺を建て、蘇我氏の建てた法興寺と、「仏法興隆」の文字を分かち合っていたことが注意される。太子には 3 人の側近があった。高句麗の慧慈、百濟系と思われる覚(かくか)、それに新羅(しらぎ)系渡来氏族である秦河勝(はたのかわかつ)であった。慧慈は仏教の、また覚は儒学の師であったが、秦河勝を含め 3 人の側近は、東アジアの国際情勢について太子に説明することができたであろう。高句麗、百濟、新羅の朝鮮半島の三国は互いに争っていたが、聖徳太子の側近としてこの 3 人はバラ

スがとれていた。執政の座にある聖徳太子にとって、蘇我馬子との関係には少なからぬ困難があった。601 年に斑鳩に宮をつくり、ついで磐余(いわれ)の上宮から斑鳩に移ったのは、馬子の本拠である飛鳥から離れ、しかも難波(なにわ)(大阪)に通ずる新しい拠点を確保することにより、独自の外交、内政を展開するためであったと考えられる。589 年(崇峻天皇 2)に隋(ずい)は中国大陸を統一したが、太子は、600 年、607 年、608 年、614 年の 4 回、隋に使者を送った。使者の任務は、辞を卑(ひく)くして中国の皇帝から政治支配権の確認を求めた 5 世紀の倭(わ)の五王とは異なり、文物、文化の移植にあった。したがって長期留学の学生、学問僧も同行したが、大陸文化の本格的な移植はこれらの留学生に負うところが多かった。603 年に冠位十二階が制定された。家柄によって身分が決まる氏姓制度にかわり、個人の力量、才能によって地位を決める冠位十二階制は、昇進も可能であり、後の官人の位階制の始まりとなった。冠位十二階の施行に続いて憲法十七条を制定した。冠位十二階が、天皇制の下での官人貴族の序列化であるとするれば、憲法十七条は、官人貴族の服務規律であり、道徳規範であった。聖徳太子が目ざしたところは、天皇を中心とする中央集権国家体制の確立であった。推古朝の政治について、聖徳太子と蘇我馬子との二頭政治であるとか、あるいは馬子の主導によって国政は推進されたとする見解があるが、572 年(敏達天皇 1)に蘇我馬子が大臣となって以来、とくに画期的な政策を断行したことがなく、聖徳太子の在世中に内政・外交の新政策が集中している事実から考えれば、推古朝の政治は太子によって指導されたとみるべきである。それだけに太子と馬子との対立は不可避であった「太子の仏教」は太子の父用明天皇は、仏教帰依(きえ)を表明した最初の天皇であったが、その願望は実現しなかった。用明天皇の仏教受容は、病気の平癒を期待したのであり、いわば現世利益(げんぜりやく)を仏教に求めたのであるが、太子の仏教受容には、現世利益を求める傾向も、鎮護国家を求める呪術(じゅじゅつ)的要素もなく、仏教を人間の個人の内的・精神的なものとの関連において理解しよ

うとするものであった。太子の仏教理解を示すものに憲法十七条があり、太子のことばとして伝えられる天寿国繡帳(てんじゅこくしゅうちょう)に載せられた「世間虚仮(せけんはこけなるも)、唯仏是真(ただほとけのみこれまことなり)」と、舒明(じょめい)即位前紀に記された「諸悪莫作(もろもろのあしきことをばなせそ)、諸善奉行(もろもろのよきわざをおこなへ)」とがある。また推古天皇のために経典を講義したときにできたという法華(ほけ)、維摩(ゆいま)、勝鬘(しょうまん)の『三経義疏(さんぎょうぎしよ)』があるが、この『三経義疏』については、太子の著作であるか否か、また太子の著作であるとして、どの部分が太子の独自の解釈であるかは、なお検討を必要とするとしてされています。

■ 幹事報告 ● 田邊 揮一朗会員



＜報告事項＞*6 月度例会案内の確認をお願いします。21日は夜間例会です。詳細内容は後ほど梶田君より報告して頂きます。

*「私の職業奉仕」原稿締切が本日になっております。私と、靱田君、内藤君の3名の提出確認しております。

* 歯車会は7名「梶田、吉田、原田、宮原、日高、太田、藤堂」以上の皆さんで申し込み終了。

＜文書報告＞*第5回 RLI-2730 パート1のご案内
* 2017年決議審議会への決議案提出について

■ 出席報告 ● 靱田 直樹会員

会員数	26名免除2名
出席数	17名
出席率	68.0%
MU	名
欠席届	9名



■ ハッピーBOX 披露 ● 武政 勝巳会員



＜ニコニコへ＞～●林 厚雄会員～久々の出席です、皆様に忘れられないかと心配していました。これからもよろしく願います。＜財団へ＞

● 岩切正司会員～例会出席に励みましょう。

■ 委員会報告 ● 梶田 與之助会員



6月21日の年度末懇親会の会場は「志都」です。

時間：18:30～会費も前回と同じく¥3,000です。

多くのご参加をお願いします。

致します。

■ ショートスピーチ

● 太田 忍会員



平成10年生まれと・昭和10年生まれの違い～というお題で楽しい記事がありましたので披露します。グループラインに送りま

すのでゆっくり読んで下さい。

■ 次年度方針 会長エレクト ● 郡司 武俊会員



クラブ運営方針、及び年間計画を皆さんにお配りしておりますので目を通して下さい。(詳細は別紙掲載)会長の時間につきましては5分と考えております。

後5分を30周年実行委員会の報告等に充てたいと思います。自分なりに精一杯努めますので、皆さんご協力をどうぞよろしくお願い致します。

■ ガバナー補佐報告 ● 藤堂孝一会員



先週の24日のRC勉強会に鷗野君と参加してきました。会長エレクトの新年度の抱負について各クラブの代表が発表するという事でした。

鷗野会員が郡司エレクトの代理として参加しましたが、次年度の抱負は少し酷かなと思ひ、私が近況報告をさせていただきました。つぼ八で懇親会に参加して9時過ぎに代行を頼み帰路につきましたが、神宮駅前の信号機で停車したと思ったら後ろからついてきた代行に追突され家に帰りついたのは11時半でした。

勉強会の中で宮崎クラブの中野エレクトの話を少し紹介します。中野エレクトも途中から候補に挙がったようで、エレクト候補が病気の為亡くなられ急遽会長エレクトになられたようです。その経験を活かし血液検査で癌の病気を発見出来るそうです。ただ費用が高いのが難点で、ロータリーを通したプロジェクトができないか抱負を述べられ、ぜひ中部分区での奉仕プロジェクトとして活用していただきたい旨皆さんから意見が出ました。

■ 4つのテスト唱和 ● 林 厚雄会員

チャリティランチ



■ 4つのテスト

1 真実かどうか

2 皆に公平か

3 好意と友情を深めるか

4 皆のためになるかどうか